

GRAN NEXT

GRAN NEXT エネルギー / GRAN NEXT テクノロジー / GRAN NEXT フード /
 GRAN NEXT ヘルスサイエンス / GRAN NEXT モビリティ 追加型投信 / 内外 / 株式
 GRAN NEXT マネープールファンド 追加型投信 / 国内 / 債券

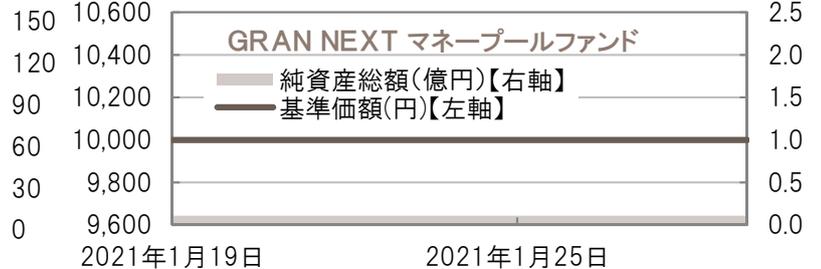
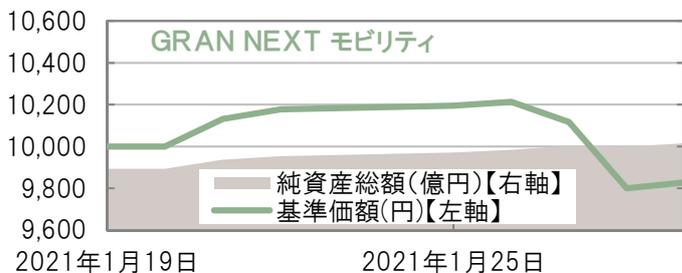
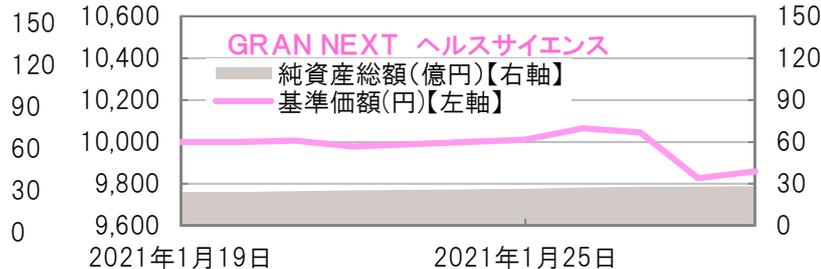
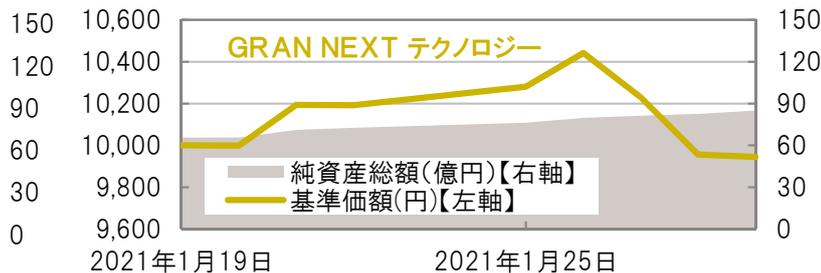
運用開始のお知らせ

ファンド情報提供資料
 データ基準日: 2021年1月末

※本資料は「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ/GRAN NEXT マネープールファンド」の概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目録見書)をご確認いただく必要があります。本資料は、ブラックロック・ジャパン(以下、ブラックロックという場合があります)の資料・コメントを基に作成しています。

平素より、「GRAN NEXT」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。2021年1月19日に、当ファンドを設定し運用を開始いたしました。本レポートでは、「GRAN NEXT」の2021年1月末までの運用状況について、ご報告申し上げます。今後とも引き続き、「GRAN NEXT」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額等の推移 (期間: 2021年1月19日(設定日)~2021年1月29日)



・基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・表示期間において分配金のお支払いはありませんでした。

下記のファンド*1は、外国投資法人である投資対象ファンド*2の投資信託証券(クラスI2・円建て(GRAN NEXT エネルギーはクラスX2・円建て))を主要投資対象とします。また、マネー・マザーファンドへの投資も行います。

*1: ファンド	*2: 投資対象ファンド
GRAN NEXT エネルギー	ブラックロック・グローバル・ファンズーサステナブル・エナジー・ファンド
GRAN NEXT テクノロジー	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンド*3
GRAN NEXT フード	ブラックロック・グローバル・ファンズーニュートリション・ファンド*4
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・ヘルスサイエンス・ファンド*5
GRAN NEXT モビリティ	ブラックロック・グローバル・ファンズーフューチャー・オブ・トランスポート・ファンド

・各投資対象ファンドは、非上場株式にも投資可能であり、ブラックロックの運用における制限上、各投資対象ファンドの純資産総額の10%まで保有可能です。なお、非上場株式の評価についてはブラックロックの評価に基づいています。2020年10月末時点で*3では純資産総額の1.5%程度、*5では純資産総額の0.1%程度を非上場株式に投資しました。*4は、設定当初から農業関連で起こる様々なイノベーションをファンドの中心の投資テーマとしていましたが、2019年3月25日以降は、「食」を中心とした食品・農業関連企業に幅広く投資を行っています。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

GRAN NEXT

「GRAN NEXT エネルギー」の運用状況（2021年1月末時点(現地時間)）

・下記は、ブラックロック・グローバル・ファンズーサステナブル・エネルギー・ファンドの運用状況です。

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 米国	27.4%
2 フランス	10.3%
3 アイルランド	7.7%
4 ドイツ	7.2%
5 スイス	6.8%
6 中国	5.9%
7 スペイン	5.6%
8 英国	5.5%
9 イタリア	5.3%
10 デンマーク	3.1%

組入上位10業種

業種	比率
1 クリーンエネルギー	23.9%
2 自動車技術	22.8%
3 建設・工業製品	19.9%
4 再生可能エネルギー技術	10.0%
5 エネルギーの効率利用	9.7%
6 原材料	5.4%
7 エネルギー貯蔵とインフラ	3.7%
8 システム・部品	2.1%
9 その他	0.0%
10 -	-

組入上位10銘柄

(組入数:49)

銘柄	業種	国・地域	比率
1 エネル	クリーンエネルギー	イタリア	5.1%
2 ネクステラ・エナジー	クリーンエネルギー	米国	4.8%
3 シュナイダーエレクトリック	建設・工業製品	フランス	3.8%
4 インフィニオン・テクノロジーズ	自動車技術	ドイツ	3.7%
5 RWE	クリーンエネルギー	ドイツ	3.6%
6 ヴェスタス・ウィンド・システムズ	再生可能エネルギー技術	デンマーク	3.1%
7 イベルドローラ	クリーンエネルギー	スペイン	3.0%
8 マキシム・インテグレートッド・プロダクツ	自動車技術	米国	3.0%
9 サムスンSDI	自動車技術	韓国	3.0%
10 ジョンソンコントロールズインターナショナル	建設・工業製品	米国	2.6%

今後の市況見通し、運用方針と米国バイデン新政権発足によるファンドへの影響

- 新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)の感染拡大により落ち込んだ世界経済に対して、各国政府は低炭素社会への移行を加速させる政策を中心にする事で、経済回復を目指しています。当ファンドは、このような世界規模で起きている大きな変化の潮流を捉え、中長期的な成長を目指します。
- バイデン新政権の発足は、クリーンエネルギーへの転換を加速させることが見込まれます。米国の気候変動に関するパリ協定への復帰やグリーンインフラ(自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方)を推進するための公共投資などの財政刺激策は、クリーンエネルギーの普及を支えると期待されます。これらの動きは、当ファンドにとって追い風になると考えています。

(出所)ブラックロックのデータ、コメントを基に三菱UFJ国際投信作成



Topic 【ご参考】2021年1月のエネルギー関連トピック

- バイデン新政権発足、環境・外交政策でトランプ政権から大転換。
- EU、2020年に初めて再生可能エネルギーによる発電量が化石燃料を上回る。

・上記は各種資料を基に表示したものであり、ファンドの運用や運営とは直接関係ありません。(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。・比率はブラックロック・グローバル・ファンズーサステナブル・エネルギー・ファンドの純資産総額に対する割合です。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

GRAN NEXT

「GRAN NEXT テクノロジー」の運用状況（2021年1月末時点(現地時間)）

・下記は、ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・テクノロジー・ファンドの運用状況です。

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 米国	56.4%
2 中国	13.3%
3 オランダ	4.1%
4 韓国	3.1%
5 ブラジル	2.6%
6 英国	2.4%
7 アルゼンチン	2.1%
8 ドイツ	1.6%
9 台湾	1.6%
10 スイス	1.3%

組入上位10業種

業種	比率
1 インターネット	25.4%
2 ソフトウェア	24.1%
3 半導体	15.6%
4 サービス	11.0%
5 ハードウェア	10.5%
6 テクノロジーを活用した新産業	4.1%
7 コンテンツ・インフラ	3.0%
8 その他	0.2%
9 -	-
10 -	-

組入上位10銘柄

(組入数:122)

銘柄	業種	国・地域	比率
1 アップル	ハードウェア	米国	3.7%
2 マイクロソフト	ソフトウェア	米国	3.0%
3 テスラ	ハードウェア	米国	2.8%
4 アマゾン・ドット・コム	インターネット	米国	1.9%
5 スクエア	サービス	米国	1.7%
6 テンセント・ホールディングス	インターネット	中国	1.6%
7 エルギー・ケミカル	ハードウェア	韓国	1.6%
8 TSMC/台湾セミコンダクター	半導体	台湾	1.6%
9 トウイリオ	ソフトウェア	米国	1.6%
10 ペイパル・ホールディングス	サービス	米国	1.5%

今後の市況見通し、運用方針と米国バイデン新政権発足によるファンドへの影響

- リモートワークやソーシャル・ディスタンスの確保など新しい生活様式のトレンドは、今後も継続されていくと考えています。多くの企業ではデジタル化・IT(情報技術)インフラのアップグレードが必要不可欠となるため、クラウド、データセンター、AI関連企業などに注目しています。また、eコマース、ゲームなどコンシューマー・テクノロジーの需要が増加し、これらに関連する企業の成長が期待されます。
- バイデン新政権では、法人税の引き上げ等の税制改正が主な焦点となる可能性が高いと考えます。この増税はテクノロジー企業にとっては逆風となる可能性があります。新型コロナの感染拡大により発生した新しい生活様式のトレンドがテクノロジーへの需要を増加させ、今後もこの傾向が続くことが見込まれることから、大きな影響とはならないと考えています。

(出所)ブラックロックのデータ、コメントを基に三菱UFJ国際投信作成



Topic 【ご参考】2021年1月のテクノロジー関連トピック

- アップル、日本で医療分野に参入。アップルウォッチで心電図の計測機能の提供開始を発表。
- 大手IT企業、次々と電気自動車(EV)の開発に参入。

・上記は各種資料を基に表示したものであり、ファンドの運用や運営とは直接関係ありません。(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。・比率はブラックロック・グローバル・ファンズワールド・テクノロジー・ファンドの純資産総額に対する割合です。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。上記は当ファンドの理解を深めていただくため、関連情報の銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

GRAN NEXT

「GRAN NEXT フード」の運用状況 (2021年1月末時点(現地時間))

・下記は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ニュートリション・ファンドの運用状況です。

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 米国	41.6%
2 カナダ	15.4%
3 ドイツ	7.3%
4 アイルランド	6.5%
5 英国	5.2%
6 オランダ	4.1%
7 フランス	3.7%
8 アイスランド	3.2%
9 メキシコ	2.9%
10 スイス	2.9%

組入上位10業種

業種	比率
1 原材料	13.6%
2 フードテクノロジー	12.3%
3 機械類	10.9%
4 ダイエット・健康	7.9%
5 肥料	6.8%
6 小売り・流通業	6.0%
7 畜産加工業	5.8%
8 食品小売業	5.7%
9 食品生産者(先進国)	4.5%
10 農薬	4.5%

組入上位10銘柄

(組入数:42)

銘柄	業種	国・地域	比率
1 ディア	機械類	米国	5.0%
2 FMC	農薬	米国	4.5%
3 コーニンクレッカDSM	原材料	オランダ	4.1%
4 CFインダストリーズ・ホールディングス	肥料	米国	3.5%
5 ジャミーソン・ウェルネス	ダイエット・健康	カナダ	3.4%
6 レストラン・プランズ・インターナショナル	レストラン	カナダ	3.4%
7 ニュートリエン	肥料	カナダ	3.3%
8 シムライズ	原材料	ドイツ	3.2%
9 グローサリー・アウトレット・ホールディング	食品小売業	米国	3.2%
10 ケリー・グループ	原材料	アイルランド	3.2%

今後の市況見通し、運用方針と米国バイデン新政権発足によるファンドへの影響

- 新型コロナの感染拡大により、私たちの生活様式は大きく変わりました。食に関しては、感染症が拡大する中で栄養価の高い食事への関心が高まりました。また、外出することなく食事を受け取れるオンラインフードデリバリーも急速に普及しました。今後もこれらの傾向は続くことが見込まれ、様々な投資機会が生み出されると考えています。当ファンドではこのように足下で起きる食に関する変化から恩恵を受ける企業や食のイノベーションによって成長が見込まれる企業に投資を行います。
- バイデン新政権発足による、当ファンドへの大きな影響は、現時点で特にないと考えています。

(出所)ブラックロックのデータ、コメントを基に三菱UFJ国際投信作成



Topic 【ご参考】2021年1月のフード関連トピック

- 国内大手総合商社、培養肉ビジネスの海外のスタートアップ企業に出資。
- 国内農機メーカー、無人トラクターの開発などでデジタル農業の実現をめざす。

・上記は各種資料を基に表示したものであり、ファンドの運用や運営とは直接関係ありません。(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。・比率はブラックロック・グローバル・ファンズ・ニュートリション・ファンドの純資産総額に対する割合です。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

GRAN NEXT

「GRAN NEXT ヘルスサイエンス」の運用状況 (2021年1月末時点(現地時間))

・下記は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンドの運用状況です。

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 米国	69.1%
2 スイス	7.5%
3 中国	5.4%
4 デンマーク	3.8%
5 フランス	3.4%
6 日本	3.0%
7 英国	1.6%
8 ドイツ	1.2%
9 ベルギー	0.5%
10 オーストラリア	0.5%

組入上位10業種

業種	比率
1 医療機器・用品	35.3%
2 医薬品	29.5%
3 医療	17.0%
4 バイオテクノロジー開発	13.9%
5 その他	1.4%
6 -	-
7 -	-
8 -	-
9 -	-
10 -	-

組入上位10銘柄

(組入数:131)

銘柄	業種	国・地域	比率
1 ユナイテッドヘルス・グループ	医療	米国	5.5%
2 アボットラボラトリーズ	医療機器・用品	米国	5.1%
3 ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)	医薬品	米国	3.4%
4 サノフィ	医薬品	フランス	3.4%
5 イーライリリー	医薬品	米国	3.1%
6 サーモフィッシャーサイエンティフィック	医療機器・用品	米国	3.0%
7 ロシュ・ホールディング	医薬品	スイス	3.0%
8 シグナ	医療	米国	2.5%
9 ポストン・サイエンティフィック	医療機器・用品	米国	2.3%
10 アムジェン	バイオテクノロジー開発	米国	2.2%

今後の市況見通し、運用方針と米国バイデン新政権発足によるファンドへの影響

- 新型コロナの感染拡大以降、ヘルスサイエンスの分野ではイノベーションの加速が多く見られました。ゲノム解析技術の進歩により、ワクチンや医薬品の迅速な開発・臨床試験が可能となり、バイオテクノロジー開発関連企業は、引き続き成長が期待されます。また、バーチャル診断などの遠隔医療サービスや在宅医療への需要が高まっており、この傾向は今後も続くことが見込まれます。当ファンドでは、引き続き中長期的な成長を目指して銘柄選定を行います。
- バイデン新政権では、アフォーダブル・ケア法(ACA、またはオバマケア)を強化することで、医療保険の適用範囲拡大が期待されます。この医療保険制度改革は、ヘルスサイエンスの分野にとって有益なものになると見込んでいます。一方で、2021年は薬価引き下げが推進されるとヘルスサイエンスの分野にとっては逆風となる可能性があります。この変化は一時的であると予想しています。

(出所)ブラックロックのデータ、コメントを基に三菱UFJ国際投信作成



Topic 【ご参考】2021年1月のヘルスサイエンス関連ピック

- 仮想現実(VR)、医療研修・障害支援の場で活用が広がる。
- ウェアラブル・デバイス、新型コロナの初期症状を検知。

・上記は各種資料を基に表示したものであり、ファンドの運用や運営とは直接関係ありません。(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。・比率はブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンドの純資産総額に対する割合です。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

GRAN NEXT

「GRAN NEXT モビリティ」の運用状況（2021年1月末時点(現地時間)）

・下記は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・フューチャー・オブ・トランスポート・ファンドの運用状況です。

組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 米国	30.0%
2 フランス	9.1%
3 韓国	8.2%
4 スイス	7.0%
5 ドイツ	5.9%
6 中国	5.7%
7 英国	5.3%
8 オランダ	4.2%
9 日本	4.1%
10 ベルギー	3.9%

組入上位10業種

業種	比率
1 テクノロジー	41.8%
2 システム・部品	38.8%
3 原材料	13.2%
4 インフラ	2.5%
5 -	-
6 -	-
7 -	-
8 -	-
9 -	-
10 -	-

組入上位10銘柄

(組入数:46)

銘柄	業種	国・地域	比率
1 インフィニオン・テクノロジーズ	テクノロジー	ドイツ	4.3%
2 アプティブ	システム・部品	米国	4.2%
3 エルジー・ケミカル	システム・部品	韓国	3.5%
4 サムスンSDI	システム・部品	韓国	3.3%
5 アンシス	テクノロジー	米国	3.2%
6 TEコネクティビティ	システム・部品	スイス	3.1%
7 アルファベット	テクノロジー	米国	3.1%
8 ダッソー・システムズ	テクノロジー	フランス	3.1%
9 シュナイダーエレクトリック	システム・部品	フランス	3.1%
10 トリンブル	テクノロジー	米国	3.1%

今後の市況見通し、運用方針と米国バイデン新政権発足によるファンドへの影響

- 脱炭素社会への動きが次世代輸送手段の普及を加速させています。現在、世界最大規模の自動車市場である中国は、2035年までにガソリン車の新車販売を全廃する方針です。米国では、2050年までに温暖化ガスの排出ゼロを目指し、環境・インフラへの2兆米ドルの大型投資を掲げています。欧州では、電気自動車(EV)へのシフトを進め、トラックや航空機などについても、クリーンエネルギーへの転換を後押ししています。また、EV普及の課題の1つである充電施設の拡充などインフラ整備も見込まれ、各国のゼロ・エミッション*政策に対応すべく、モビリティ関連企業の成長が期待されます。当ファンドでは、中長期的に成長を見込める企業に投資を行います。*ある産業から出た廃棄物を別の産業が再利用することで最終的に埋め立て処分する廃棄物の量をゼロに近づけるという考え方。
- バイデン新政権はパリ協定への復帰のための署名を行うなど、環境政策を重視する姿勢を示しており、EVをはじめとする輸送関連企業にとっては追い風になると考えています。

(出所)ブラックロックのデータ、コメントを基に三菱UFJ国際投信作成



Topic 【ご参考】2021年1月のモビリティ関連トピック

- 自動車大手やスタートアップ企業、EVに自動充電するロボットアームやワイヤレス充電などEV向けの新技术を開発中。
- 自動車大手、物流向けのEVサービスを発表。

・上記は各種資料を基に表示したものであり、ファンドの運用や運営とは直接関係ありません。(出所)各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。・比率はブラックロック・グローバル・ファンズ・フューチャー・オブ・トランスポート・ファンドの純資産総額に対する割合です。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の影響度合いは組入比率の通りとは限りません。

・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

GRAN NEXT

GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/
GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ

ファンドの目的

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

1 GRAN NEXT エネルギー

主として日本を含む世界各国の持続可能なエネルギー関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- 持続可能なエネルギー関連企業とは、再生可能エネルギー技術・開発、代替燃料、エネルギー効率化、エネルギー貯蔵、エネルギー・インフラを含めた、代替エネルギーおよびエネルギー技術の分野で経済活動を行う企業。
- 石炭・消耗燃料、石油・ガス探査・開発、総合石油・ガスのセクターに分類される企業には投資を行いません。

GRAN NEXT テクノロジー

主として日本を含む世界各国のテクノロジー関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

GRAN NEXT フード

主として日本を含む世界各国の食品・農業関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- 食品・農業関連企業とは、包装、加工、流通、技術、食品関連・農業関連サービス、種子、農業・食品添加物、食品生産の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT ヘルスサイエンス

主として日本を含む世界各国のヘルスサイエンス関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- ヘルスサイエンス関連企業とは、医療、医薬品、医療機器・用品、バイオテクノロジー開発の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT モビリティ

主として日本を含む世界各国の輸送関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- 輸送関連企業とは、輸送に使用・適用されるテクノロジーの研究、開発、テクノロジーを利用した製品・サービスの製造、販売の分野で経済活動を行う企業。
- 投資先外国投資法人では、自動車の電化や自律化、コネクティッドカーへの移行から利益を得る企業に着目し、原材料(資源やバッテリー資源等)、部品やコンピュータ・システム(バッテリーやケーブル等)、テクノロジー(自動車センサー技術等)、インフラ(電気自動車の充電スポット等)等の経済活動を行う企業の株式等を選定します。主に先進国の企業の株式等に投資を行いますが、新興国にも投資を行います。

・ DR(預託証券)とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。

※ ファンドは、外国投資法人である投資対象ファンドの投資信託証券(クラスI2・円建て(GRAN NEXT エネルギーはクラスX2・円建て))を主要投資対象とします。また、マネー・マザーファンドへの投資も行います。くわしくはP1をご参照ください。

2 各投資先外国投資法人の運用は、ブラックロックグループの投資顧問会社*が行います。

- ブラックロックグループは1988年に設立され、世界30カ国以上に拠点を有する独立系の資産運用会社グループです。
- 同グループは世界に2,000名を越える運用のプロフェッショナルを有し、世界最大級の資産運用残高約824兆円を誇ります。(2020年9月末時点、為替レートは1米ドル=105.53円)
- 各投資先外国投資法人を運用する株式チームは、充実した調査体制を有しており、同グループのリソースを最大限に活用します。
- * ブラックロックグループの投資顧問会社は、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメントLLC[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド[イギリス]、ブラックロック(シンガポール)リミテッド[シンガポール]のことをいいます。
- * 投資顧問会社は、運用の指図権限をさらにブラックロックグループの他の会社に委託する場合があります。

(出所)ブラックロックの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

3 原則として、為替ヘッジを行いません。

- 実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

4 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。
(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(初回決算日は、2022年1月19日です。)

《ファンドの仕組み》

ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

- ファンド・オブ・ファンズ方式とは、株式や債券などに直接投資するのではなく、複数の他の投資信託証券に投資するしくみです。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

GRAN NEXT

GRAN NEXT マネープールファンド

ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- 1 わが国の短期公社債等を中心に投資し、主として安定した利子等収益の確保を図ります。
※実際の運用はマネー・マザーファンド受益証券を通じて行います。
- 2 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。
(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。(初回決算日は、2022年1月19日です。)

《ファンドの仕組み》

ファミリーファンド方式により運用を行います。

- ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/
GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ/GRAN NEXT マネープールファンド

投資リスク

基準価額の変動要因:「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ」の基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等、「GRAN NEXT マネープールファンド」の基準価額は、金利変動による組入公社債の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ」の主な変動要因は、価格変動リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。「GRAN NEXT マネープールファンド」の主な変動要因は、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料に関するご注意事項

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

- お客さま専用フリーダイヤル:
0120-151034(受付時間/営業日の9:00~17:00)
- ホームページアドレス:
<https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

設定・運用

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

GRAN NEXT

お申込みメモ

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

購入時

購入単位

販売会社が定める単位
販売会社にご確認ください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額
※ 基準価額は1万口当たりで表示されます。

換金時

換金単位

販売会社が定める単位
販売会社にご確認ください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。

申込について

申込不可日

【GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド】次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。
・ルクセンブルクの銀行の休業日、12月24日、投資対象とする外国投資法人の投資信託証券の申込受付停止日
【GRAN NEXT マネープールファンド】ありません。

申込締切時間

原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

換金制限

ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。

購入・換金申込受付の中止および取消し

【GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド】金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、各ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。

【GRAN NEXT マネープールファンド】金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。

信託期間

2031年1月17日まで(2021年1月19日設定)

繰上償還

各ファンドの受益権の口数が10億口を下回るようになった場合、またはGRAN NEXT を構成する各ファンドの受益権の総口数の合計が50億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。

【GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド】各ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。

【GRAN NEXT マネープールファンド】ファンドのスイッチング対象となるファンドがすべて償還することとなった場合には繰上償還となります。

決算日

毎年1月19日(休業日の場合は翌営業日)

※初回決算日は2022年1月19日

その他

収益分配

年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。)

販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。

課税関係

課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

スイッチング

GRAN NEXT を構成する各ファンド間でのスイッチングが可能です。GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンドの申込不可日には、GRAN NEXT マネープールファンドからのスイッチングもできません。

販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。手続・手数料等は、販売会社にご確認ください。なお、換金時の譲渡益に対して課税されます。

GRAN NEXT

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時 手数料	購入価額に対して、 上限3.30%(税抜 3.00%) 販売会社が定めます。 くわしくは、販売会社にご確認ください。 ※ GRAN NEXT マネープールファンドは、かかりません
換金時	信託財産 留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理 費用 (信託報酬)	<p>【GRAN NEXT エネルギー】 日々の純資産総額に対して、年率1.881%(税抜 年率1.710%)をかけた額</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資対象とする外国投資信託証券の投資顧問会社報酬:委託会社が受ける報酬から、当該外国投資信託証券のファンド組入額の年率0.68%以内が支払われます。 <p>【GRAN NEXT フード】 【GRAN NEXT モビリティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 当該ファンド: 日々の純資産総額に対して、年率1.133%(税抜 年率1.030%)をかけた額 ■ 投資対象とする投資信託証券: 投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.68%(マネー・マザーファンドは除きます。) ■ 実質的な負担: ファンドの純資産総額に対して年率1.813%程度(税抜 年率1.710%程度) ※ 投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 <p>【GRAN NEXT テクノロジー】 【GRAN NEXT ヘルスサイエンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 当該ファンド: 日々の純資産総額に対して、年率1.133%(税抜 年率1.030%)をかけた額 ■ 投資対象とする投資信託証券: 投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.75%(マネー・マザーファンドは除きます。) ■ 実質的な負担: ファンドの純資産総額に対して年率1.883%程度(税抜 年率1.780%程度) ※ 投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 <p>※ 投資対象とする外国投資信託証券では、保管報酬および事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。また、投資対象とする外国投資信託証券で有価証券の貸付を行った場合、その収益の一部がブラックロックグループの会社へ支払われます。投資対象とする外国投資信託証券においては、実質的な保管報酬および事務処理に要する諸費用は事前に把握ができません。</p> <p>【GRAN NEXT マネープールファンド】 日々の純資産総額に対して、年率0.605%(税抜 年率0.550%)以内をかけた額</p>
-------	----------------------	--

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

保有期間中

その他の
費用・
手数料

以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。

- ・ 監査法人に支払われるファンドの監査費用
- ・ 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
- ・ 投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等(GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド)
- ・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
- ・ その他信託事務の処理にかかる諸費用 等

※ 上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

- ※ 運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
- ※ 上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

GRAN NEXT

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○